

愛知県版「架け橋期のカリキュラム」作成ガイド

幼保小で協議し、「めざす子供像」を設定します。

愛知県版「架け橋期のカリキュラム例」【「わくわく・いきいき」をつなげる】

〇〇小学校区(〇〇園)

「わくわく」を感じ、「いきいき」と遊び・学びに取り組む子

共通の視点①～⑦は例となります。
小学校区の実態に沿って設定します。

「めざす子供像」に迫るための、それぞれの発達段階で育ってほしい子供の姿を設定します。

幼児期の経験や学びを生かしながら授業を展開するため、遊びを通した学びが小学校の各教科等の学びにどのようなつながっているか整理します。

「わくわく」を「いきいき」につなげていくために、援助・支援をどのようににつなげていけばよいかを考えます。

園を訪問し、子供が安心できる環境の構成などに触れ、子供の活動を生み出す意図的環境等の観点で小学校の学習環境を見直します。

小学校1年生の子供の姿に、5歳児があがれ、モデルとして学ぶことができます。

担当者や5歳児・1年生の担任だけではなく、全教職員で関わるようにします。
互いの保育・授業を参観し合い、幼児教育と小学校教育との共通点や異なる点に触れ、互いの教育に理解を深めます。

小学校区でめざす子供像	「わくわく」を感じ、「いきいき」と「遊び・学び」に取り組む子供																									
共通の視点	5歳児													小学校1年生												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
①育ってほしい子供の姿	面白くと思うことに、自分から、かわかり、楽しんだり没頭したりする													「やってみたいこと」を見つけ、自分が考えた方法で調べ、振り返る												
	思いついたことを自分なりの考えや方法で試したり、友達に伝えたりして実現しようとする。 友達とのしていることに興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 遊び方や遊び・生活の中の役割を保育者や友達と話し合って決め、協力して取り組む。 自分に自信をもち、目的に向かって協力して取り組み、実現する喜びを充実感を感じる。													教室が安心してできる場所と感じ、先生や友達と進んでかかわる。 園での経験を生かして、やってみたいと興味をもって取り組み、楽しく学びながら「できた」という達成感を味わう。 教室が安心してできる場所と感じ、先生や友達と進んでかかわる。 園での経験を生かして、やってみたいと興味をもって取り組み、楽しく学びながら「できた」という達成感を味わう。												
②「遊び・学び」のつながり	日常生活の中で、遊びや学びのつながりを感じ、興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 友達とのしていることに興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 遊び方や遊び・生活の中の役割を保育者や友達と話し合って決め、協力して取り組む。 自分に自信をもち、目的に向かって協力して取り組み、実現する喜びを充実感を感じる。													日常生活の中で、遊びや学びのつながりを感じ、興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 友達とのしていることに興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 遊び方や遊び・生活の中の役割を保育者や友達と話し合って決め、協力して取り組む。 自分に自信をもち、目的に向かって協力して取り組み、実現する喜びを充実感を感じる。												
園で展開される「遊び」	日常生活の中で、遊びや学びのつながりを感じ、興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 友達とのしていることに興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 遊び方や遊び・生活の中の役割を保育者や友達と話し合って決め、協力して取り組む。 自分に自信をもち、目的に向かって協力して取り組み、実現する喜びを充実感を感じる。													日常生活の中で、遊びや学びのつながりを感じ、興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 友達とのしていることに興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 遊び方や遊び・生活の中の役割を保育者や友達と話し合って決め、協力して取り組む。 自分に自信をもち、目的に向かって協力して取り組み、実現する喜びを充実感を感じる。												
小学校の生活科を中心とした各教科等の「学び」	日常生活の中で、遊びや学びのつながりを感じ、興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 友達とのしていることに興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 遊び方や遊び・生活の中の役割を保育者や友達と話し合って決め、協力して取り組む。 自分に自信をもち、目的に向かって協力して取り組み、実現する喜びを充実感を感じる。													日常生活の中で、遊びや学びのつながりを感じ、興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 友達とのしていることに興味や関心をもち、一緒に遊びや生活を進める楽しさを感じる。 遊び方や遊び・生活の中の役割を保育者や友達と話し合って決め、協力して取り組む。 自分に自信をもち、目的に向かって協力して取り組み、実現する喜びを充実感を感じる。												
③援助・支援のつながり	子供との信頼関係を基に、子供が楽しんでいることを一緒に楽しんだり見守ったりして一人一人を受け止めています。 子供が自分なりの目的をもち、実現できるように試したり、工夫したり挑戦したりするのを支えるようにしています。 子供が気付いたり考えたりする過程を大切に、一緒に考えたり、嬉しさや驚きに共感したりしています。 自分の気持ちや保育者や友達に伝えられるように、機会を捉えて表しやすき雰囲気や状況をつくるようにしています。													子供と一緒に活動を楽しみ、子供の活動を温かく見守り、同じ目標で話を聞くようにしています。 生活科や体育、音楽、図工等の教科指導に遊びや音楽を取り入れ、主体的に取り組める課題を授業に設定しています。 園でやっていたことなど？などの声掛けをして、経験を引き返させるようにしています。 子供の様子に目を配り、気になる子供には積極的に声掛けをするようにしています。 授業時間を柔軟に設定しています。												
④環境のつながり	試行錯誤できるゆとりとした時間を設定しています。 保育者の遊びの場のレイアウト(環境の構成)を工夫し、子供が主体的に遊びを展開し、遊びを通じて学ぶことができるようにしています。 発達の過程や子供の興味・関心に応じた道具・素材・教材を準備して、子供たちの想像力や思考力、表現力等を育てています。													教室のレイアウトを工夫し、活動に応じ、主体的に学びに向かえるようにしています。(子供が集まって活動できる、見やすい板書、学びの足場の掲示による学習のきっかけづくりなど) 園における教室のレイアウト・教材の準備の工夫などについて適宜取り入れています。(生活の流れが見通せる掲示、視覚的にわかる工夫など)												
⑤子供のつながり【交流】														「あそびをさがそう」公園で一緒に秋探し 「小学校をあんないするよ」1年生による学校案内												
⑥先生のつながり【交流】	4月 小授業参観 5月 国保参観 6月 合同研修会 7月 交流会打合せ 8月 交流会の振り返り・打合せ 9月 引き継ぎ会 10月 評価会議													11月 交流会の振り返り・打合せ 12月 引き継ぎ会 1月 評価会議 2月 引き継ぎ会 3月 評価会議												
家庭や地域との連携	園便りやドキュメンテーションなどで、架け橋期の取組の理解を進め、具体的な保育内容や子供の育ちを紹介する。 保護者に架け橋期の取組のねらいや様子、その成果を伝えたいです。													学校説明会で、園での生活が小学校生活の基礎になることや、架け橋期の取組について伝える。 学校便りなどで、架け橋期の取組の理解を進め、具体的な教育活動を紹介する。												

